

山並み連携 ゼロカーボンシティ共同宣言

～2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～

毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村

Moroyama

Ogose

Tokigawa

Higashichichibu

MOROYAMA OGOSE
TOKIGAWA HIGASHICHIBU  MOTH GREENLAND

背景

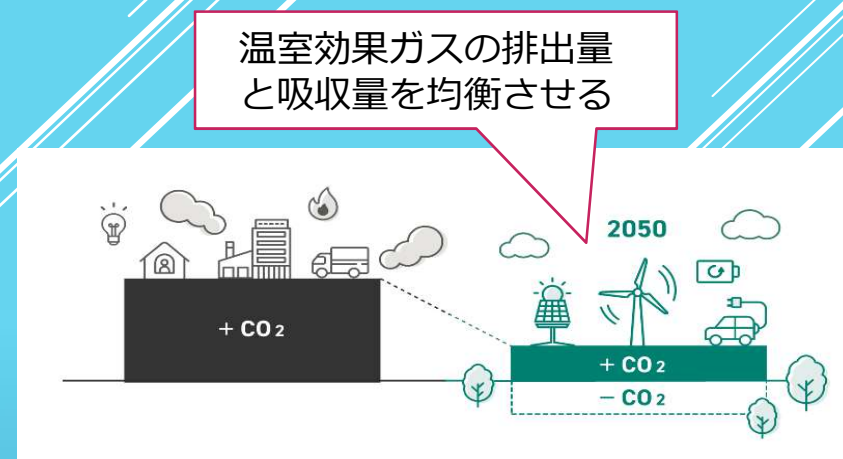
地球温暖化対策の推進に関する法律では、都道府県及び市町村は、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、及び実施するように努めるものとしてされています。こうした制度を踏まえつつ、昨今、脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方自治体が増えております。

全国の自治体では、797自治体（43都道府県、465市、20特別区、230町、39村）が、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言をしています。

埼玉県内は、35自治体（29市、6町）がゼロカーボンシティ宣言をしています。
（令和4年10月31日時点）

ゼロカーボンとは

二酸化炭素等の温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成した状態のことを言います。その実現を目指す地方公共団体を「ゼロカーボンシティ」と呼びます。



3町1村の山並み



毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村

Moroyama

Ogose

Tokigawa

Higashichichibu



山並みが連なっている



MOTH GREEN LAND
goroyama okigawa igashichichibu
(緑) (土地)



共同宣言

コンセプト



山並み連携

3郡（入間郡、比企郡、秩父郡）のそれぞれの役割が重要なポイント

毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村

- ・ 山（森林）を持っていることの責任
- ・ 山（森林）を守ることの責任
- ・ 山（森林）の役割、重要性の再確認

山が繋がっている
豊富な山林
林道が繋がっている

森林活用

山並み連携

山間部で栽培される農産物
杉、ヒノキの山
サイクリング、ハイキング

森林整備による
二酸化炭素排出抑制

3町1村での表明方法

報道機関へプレスリリースを行い、3町1村の首長が一同に集結し、「2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ」を目指すことを表明

【宣言日】

令和4年12月25日（日）

「森林と木」

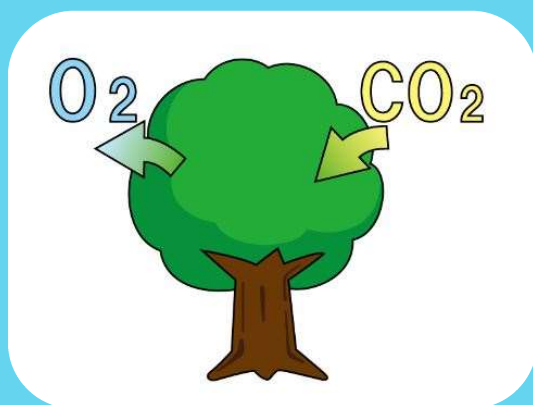
町村有林の活用



森林整備による
CO₂吸収量の増加



CO₂の削減



森林整備・保全・活用

共同取組（案）

森林再生による緑の循環システムの推進

- ・ 町有林・村有林の循環再生
- ・ 間伐の未利用木材の商品化
- ・ 公共施設の備品の木質化
- ・ 木製名札の作成

ゼロカーボンシティ広報活動・環境学習

- ・ 3町1村のイベントへ(仮称)山並み連携ゼロカーボンシティ協議会として参加し、環境問題に関するPR
- ・ 小中学生を対象にした環境問題・環境保全等を題材とした研究コンクール
- ・ フリーマーケット、軽トラック市場の開催
- ・ 奥武蔵グリーンラインのハイキング、サイクリング道としての活性化

施策の効果

二酸化炭素の削減

住民の健康促進

森林の循環再生による
二酸化炭素の継続的な削減

林業再生による地元
での雇用創出

環境問題に対する知識の
向上

施策の展開

森林活用による森林
保全

間伐による未利用木材の商
品化により、3町1村地域
の脱炭素制作をモノとして
郊外にアピール

少子化対策

若者の移住
定住促進

3町1村の状況

令和4年4月1日現在 ※2020年農林業センサスより

【毛呂山町】

総人口：32,757人
面積：3,407ha
林野面積：1,416ha
森林率：41.6%

【越生町】

総人口：11,193人
面積：4,039ha
林野面積：2,717ha
森林率：67.3%

【ときがわ町】

総人口：10,728人
面積：5,590ha
林野面積：3,887ha
森林率：69.5%

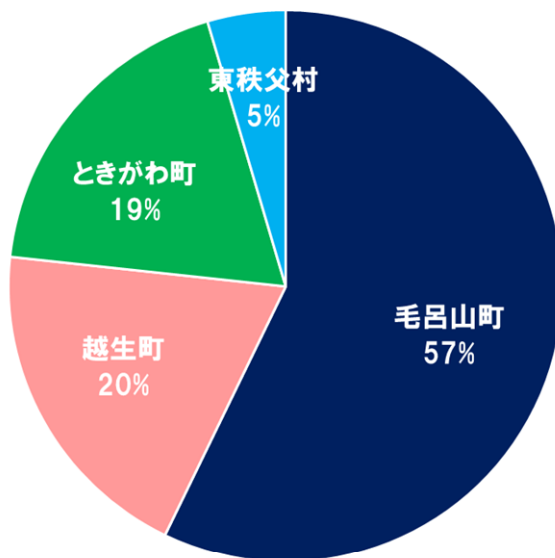
【東秩父村】

総人口：2,612人
面積：3,706ha
林野面積：2,955ha
森林率：79.7%

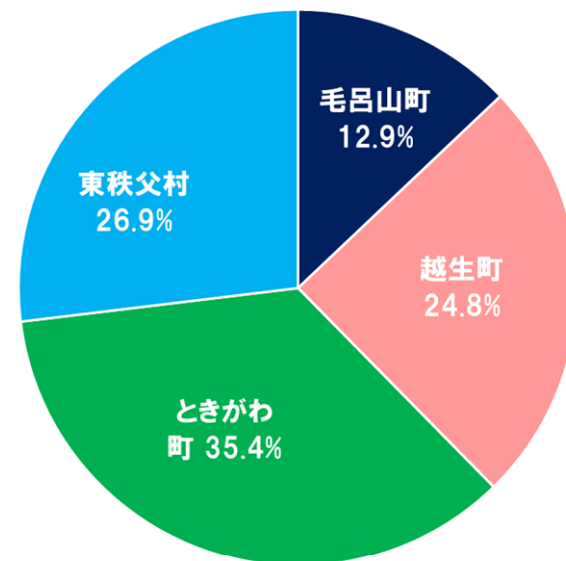
【合計】

総人口：57,290人
面積：16,742ha
林野面積：10,975ha
森林率：65.6%

3町1村の人口割合

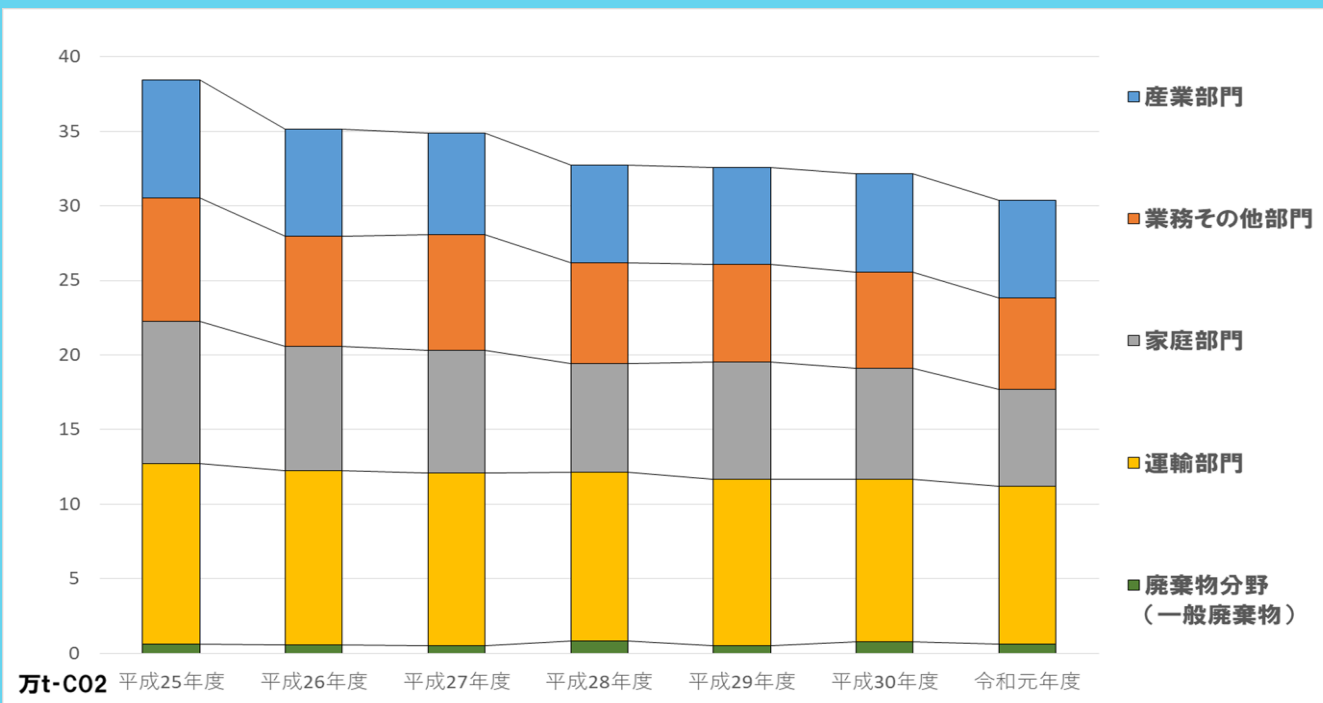


3町1村の森林割合



3町1村の二酸化炭素の排出量

資料：環境省 自治体排出量カルテ



産業部門

- ・ 製造業は、製造品出荷額等により算出
- ・ 建設業・鉱業は、従業者数により算出
- ・ 農林水産業は、従業者数により算出

業務その他部門

- ・ 業務その他部門は、市町村内の従業者数により算出

家庭部門

- ・ 家庭は、市町村内の世帯数により算出

運輸部門

- ・ 旅客自動車は、自動車の車種別保有台数により算出
- ・ 貨物自動車は、自動車の車種別保有台数により算出
- ・ 鉄道は、市町村の人口により算出

一般廃棄物

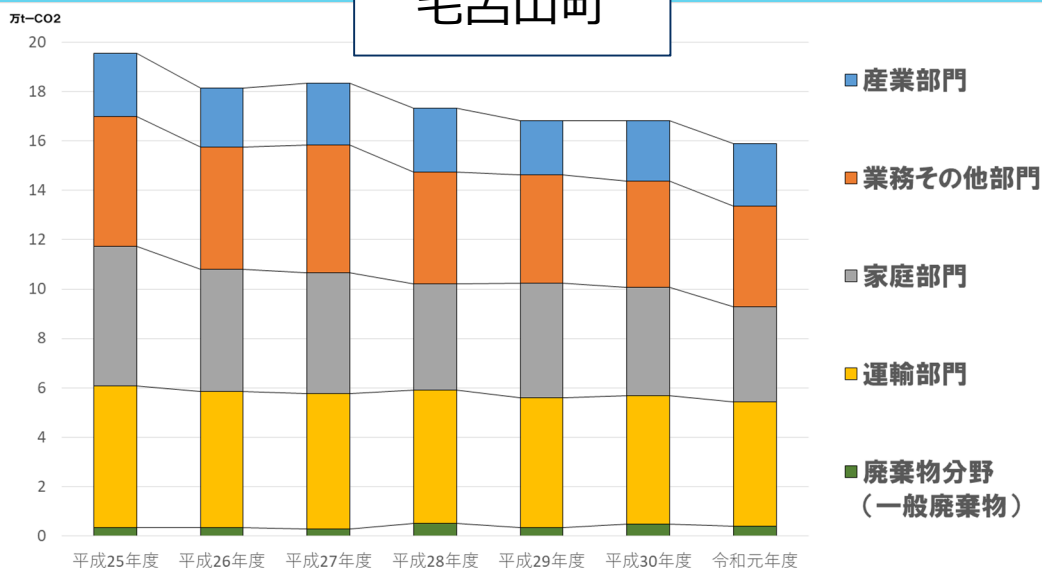
- ・ 一般廃棄物の焼却処理量により算出

部門・分野	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	排出量 (万t-CO2)	排出量 (万t-CO2)	排出量 (万t-CO2)	排出量 (万t-CO2)	排出量 (万t-CO2)	排出量 (万t-CO2)	排出量 (万t-CO2)
合計	38	35	35	33	33	32	30
産業部門	8	7	7	7	7	7	7
製造業	7	6	6	6	6	6	6
建設業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0
農林水産業	3	3	3	3	3	3	2
農林水産業	6	5	6	7	6	6	6
業務その他部門	8	7	8	7	7	6	6
家庭部門	10	8	8	7	8	7	6
運輸部門	12	12	12	11	11	11	11
自動車	12	11	11	11	11	11	10
旅客	7	7	7	7	6	6	6
貨物	5	5	5	4	4	4	4
鉄道	0	0	0	0	0	0	0
船舶	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野 (一般廃棄物)	1	1	1	1	1	1	1

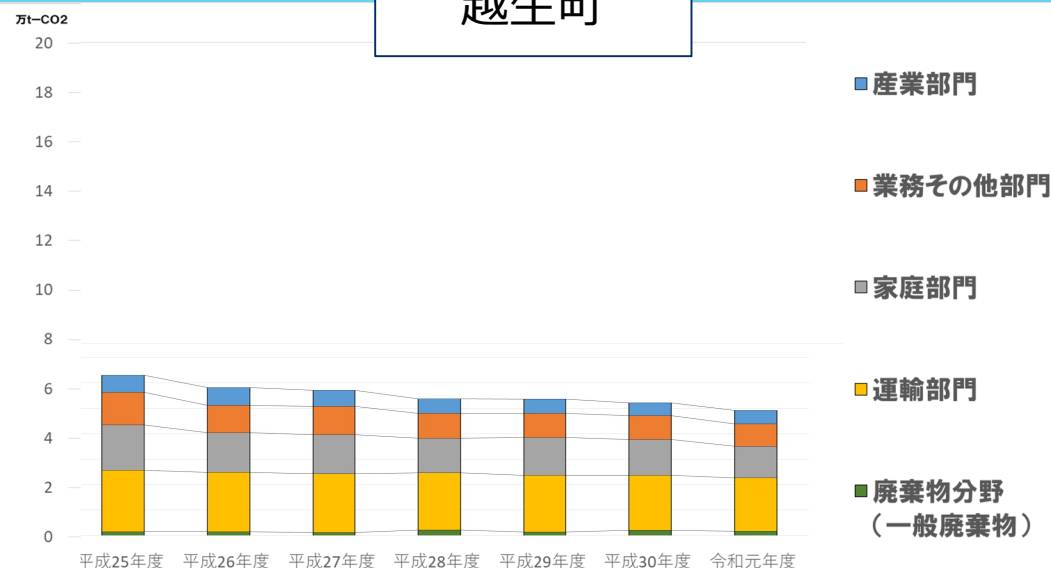
町村ごとの二酸化炭素の排出量

資料：環境省 自治体排出量カルテ

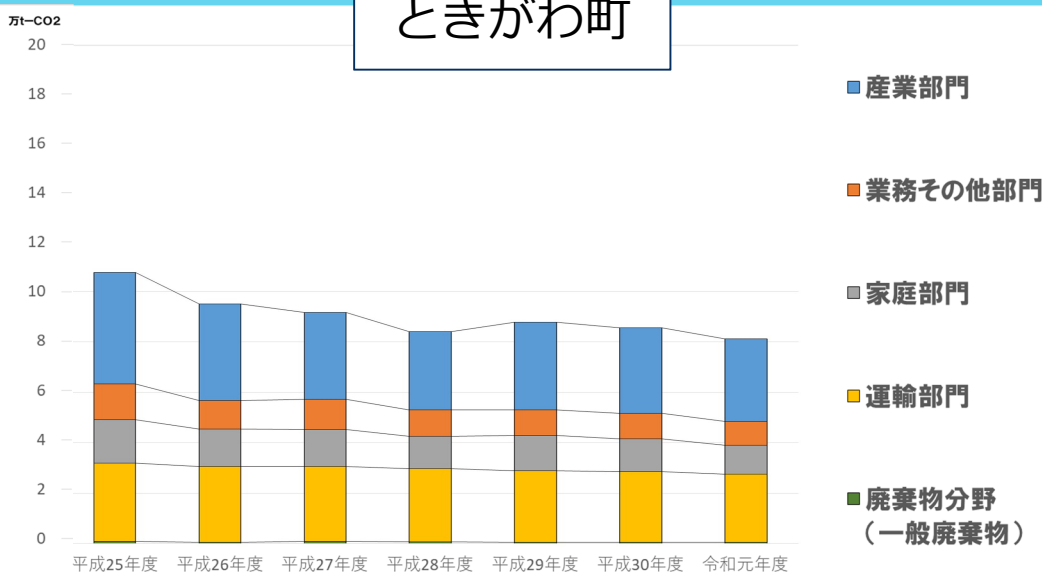
毛呂山町



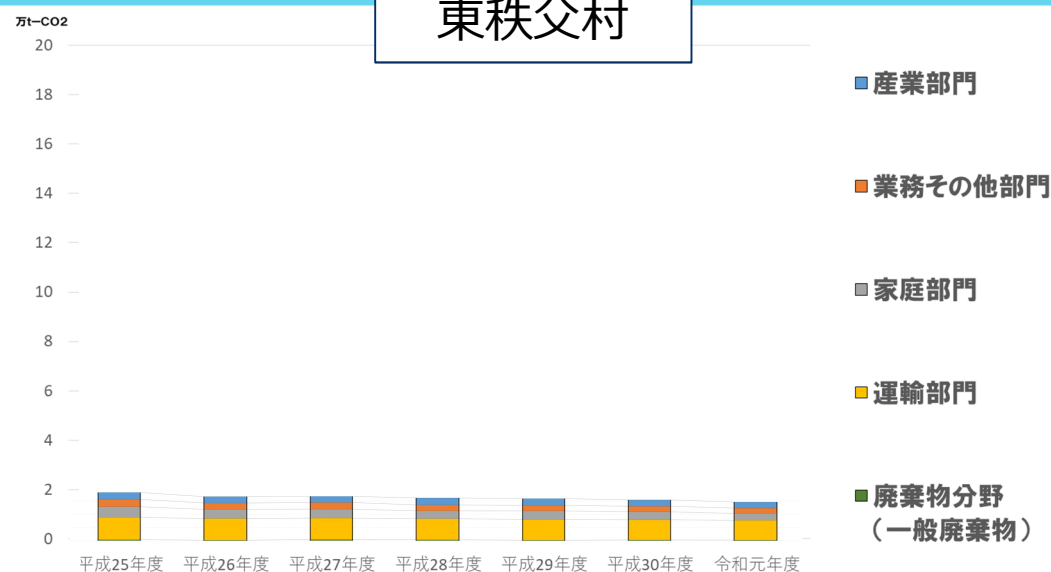
越生町



ときがわ町

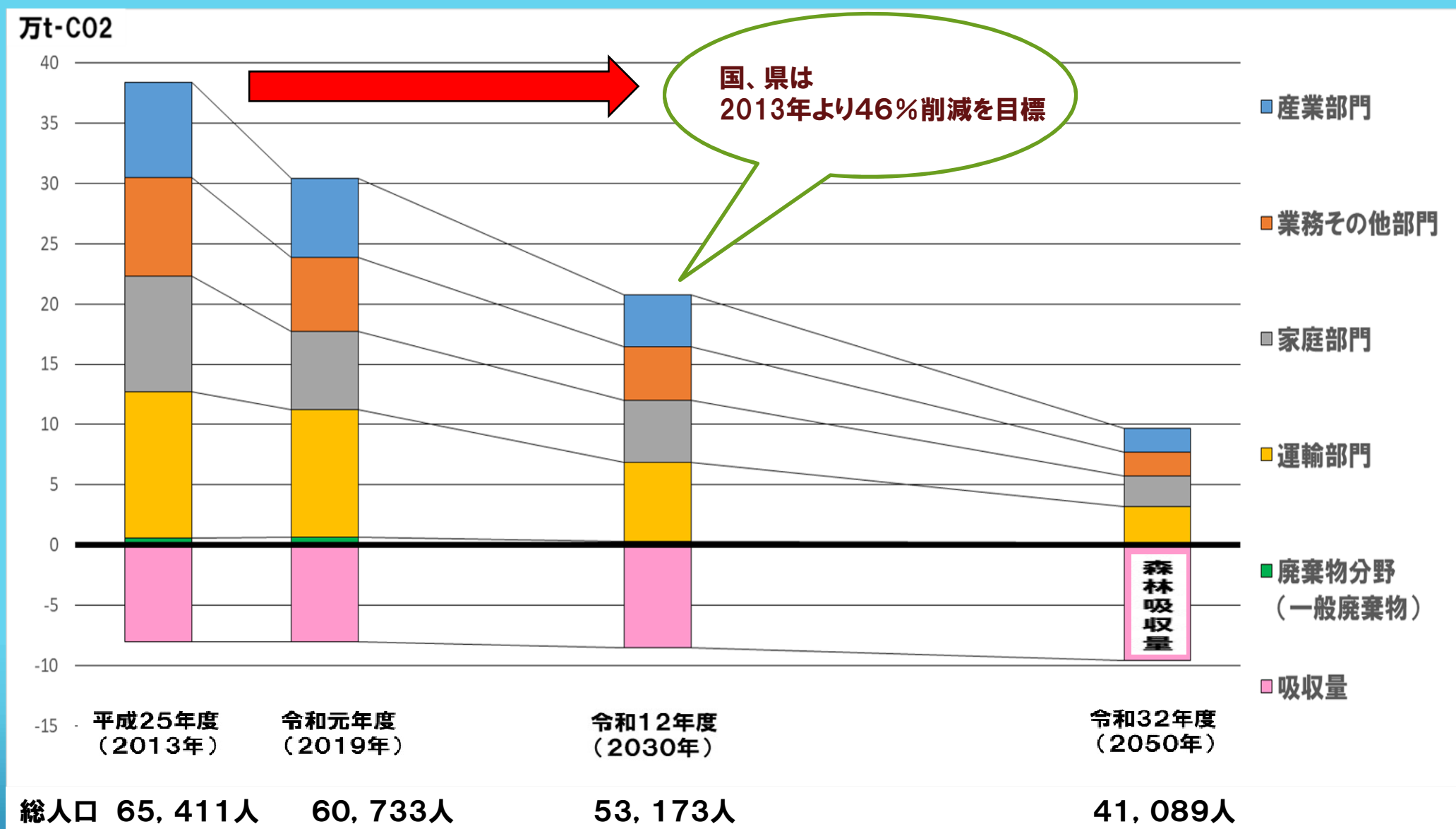


東秩父村



実質排出量ゼロに向けて

資料：環境省 自治体排出量カルテ



森林が持つポテンシャルを最大限に活かす

ロゴマーク

